

旧赤松家だより

令和4年3月28日



あたたかな春の日ざしに心がはずむ季節となりました。

令和3年度も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置がありましたが、休日には200人を超える来館者をお迎えした日もありました。

熱心に展示を観られる歴史に詳しい方、毎回内蔵ギャラリーを楽しみに来られる方、庭を散策される家族やカップル、レンガ塀や庭園をバックに写真撮影をされるグループ、テレビ「百年名家」「青天を衝け」やラジオ「磐田まぢめぐりスクーパー」を視聴して来館された方など、多くの方に旧赤松家を楽しんでいただきました。ありがとうございました。

<来館者のメッセージノートから>

- 赤松則良が勝海舟や渋沢栄一と交流がある方とは知らなかったので、興味深く展示を見ることができました。 <焼津市からの男性>
- 学校で学んだ後だったので楽しく見られ、内容がずっと入ってくる。あまり知られていない人だが、他の有名な人と一緒に出ることで時代や内容が学校で学んだ場所とつながりさらにおもしろくなる。則良のことが分かれば分かるほど、学校で教わらなかったことが知れて、楽しいし、うれしい。大事な思い出となりました。 <愛知県からの中学3年生・女子>
- ずっと気になっていた赤松邸。やっと訪れることができました。親切に対応して頂き、温かな気持ちです。また、赤松家の立派さにびっくりしました。パワーをいただけたような気がします。 <浜松市からの女性>
- 実家のすぐ近くなのに1回も来たことはありませんでした。こんな貴重な場所があるなんて!!赤松家ステキでした☆ <磐田市 女性>

男爵・海軍中将であった赤松則良は、幕末には咸臨丸で勝海舟や福沢諭吉らと渡米、その後、約6年間のオランダ留学中には渋沢栄一とも関わりました。明治に入り海軍で功績を残すとともに磐田原台地で茶園開拓を行いました。

県・市指定文化財のレンガ造りの建物や庭園、幕末から明治にかけての歴史にも触れられる旧赤松家。約1500坪の庭園は、年間を通して約40種類の樹木と季節の草花が楽しめます。これから木々の若葉が目優しく、散策にはもってこいの季節を迎えます。

令和4年度も、感染対策をしっかりとしながら皆様をお待ちしています。ぜひお越しください。